

Rotary



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／中村文明
- 副会長／林 尚孝・高木克彦
- 幹事／小口 隆
- R 情報(会報)委員長／杉村邦彦

■ 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939

URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp

■ 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2930 回例会 2021 年（令和 3 年）3 月 9 日(火)

点 鐘：中村文明 司 会：中嶋孝一

斉 唱：手に手つないで

ラッキーNo：NO. 22 山岡俊幸

結 婚 祝：高木昭好・尾関秀雄・宮澤由己・山岸邦太郎・吉村栄二・大滝祐吉

会長挨拶

3月6日、国際ロータリー第2600地区 諏訪グループインターシティミーティングが、ホストクラブ当岡谷ロータリークラブの下開催されました。

当日は、本会議場駅前テクノプラザと、聴講メンバーは会場メモリーさん2か所での変則的な開催となりました。

年度当初より実行委員会内では、新型コロナウイルス感染症対策として、どのようなIMの形態がベストなのかと多くの時間を割き検討してまいりました。

ガバナー他諏訪グループメンバーは、各クラブ単位でリモート聴講、来賓の今井市長はビデオ参加となり、感染拡大三密を極力避ける配慮を施しました。

本来ならばIM実行委員会の組織図に則り全メンバーの協力の下での一大イベントになり、会員の一体感も深まり大成功を収めるはずでしたが、コロナ禍で断念せざるを得ませんでした。

今回のようなコロナ禍でのIMを経験して、メンバーの皆様の決断力と実行力の素晴らしさを再認識いたしました。ご協力いただいた皆様、お手伝いいただいた中央企画・中央印刷さんにお礼申し上げます。

今後は、報告書代わりのDVD制作が残っておりますので、よろしく願いいたします。

今回のIMの形式を、現在のような非常事態での事業の見本としていただきたいと思います。皆様のご協力、誠にありがとうございました。

幹事報告

- 次週3月16日は、2クラブ合同例会が中止となっておりますので休会です。昼例会もありません。
- 3月23日は、年間予定通り休会です。
- 次回は3月30日、今井市長の卓話となります。

- 岡谷市民憲章推進協議会事務局より、イベントの案内がきております。興味のある方はチラシをお持ちください。

* I Mお礼挨拶*

矢島進ガバナー補佐

3月6日のIMに於いては、小口実行委員長をはじめとした役員の皆様には、準備の段階から大変お世話になりありがとうございました。また、会員の皆様にもご協力いただきました事を、この場をお借りしてお礼申し上げます。オンラインIMという事で初の試みではありましたが、中央企画の皆様のご協力を得まして何のトラブルもなく終える事ができました。

また、先日成田ガバナーにお礼の電話を差し上げたところ「オンラインであっても心配りの効いたIMでしたね」と言われ、高評価をいただけたんじゃないかなと思います。私も拙いものですから黒子に徹して頑張っていたいただいた方おられるのではないかと思います。何よりも素晴らしいスタッフに恵まれてIMが開催できました事に心より感謝申し上げますとお礼とさせていただきます。ありがとうございました。

小口泰史 IM実行委員長

3月6日、IMが無事終了いたしました。矢島ガバナー補佐年度にオンラインでの開催という初の試みとなりましたが、無事開催できました事に感謝申し上げます。

また、医療従事者の方への支援として、IMとチャリティゴルフコンペを合わせて支援金をお渡しする予定ですのでよろしくお願いいたします。

本来であれば、クラブ一丸となってやるべき事でしたが、コロナによりこのような形にはなりましたが、こよなく終わりました事に改めて感謝申し上げます。岡谷クラブのメモリー会場では、当日音声の調子が前半良くなかったようですが、他クラブは非常に良く繋がり安心いたしました。後日DVDを全員にお配りしますので、ゆっくりご覧いただければと思います。ありがとうございました。

～3月6日IMより～



第2600地区 委員長・委員 委嘱状交付

諮問委員会 委員	宮坂 宥洪
規定審議会検討委員会 委員長	宮坂 宥洪
危機管理委員会 委員	宮坂 宥洪
地区大会企画委員会 委員	宮坂 宥洪
規定審議会 代表議員	宮坂 宥洪
ロータリー財団委員会 委員長	宮坂 宥洪
地区会計監事	瀬戸 雅三
米山記念奨学委員会 寄付増進委員	小口 裕司
R財団委員会 資金推進小委員	宮坂 晃介
デジタル化推進委員会 委員	佐伯 克己



卓話「ウイルスとロータリー」

宮坂宥洪会員

昨年来、世間を騒がせている新型コロナウイルスですが、この際、思い立ってウイルスについていろいろと調べてみました。すると今まで考えてみたこともない驚くべきことがたくさんわかりました。すべてが想像を絶することでした。

結論を申し上げますと、ウイルスは人間の敵ではない。

それどころか、ウイルスがなければ、生物の進化はなく、その最終段階としてのロータリークラブは存在しなかった、ということです。

もしかすると、新型コロナウイルスは、人類にとって優しく、有り難い存在なのではないか、という大胆この上ない話をしたいと思います。

1. ウイルスは、途方もなく、小さい

ウイルスは20~300nm(ナノメートル)、インフルエンザウイルスは80~120nm。

よくウイルスと細菌は混同されがちですが、全然違います。大腸菌のような細菌は1~5マイクロメートル。大きさの単位が違います。

細胞は100万分の1^{ナノ}、すなわちマイクロの世界ですが、ウイルスはその1000分の1のナノの世界、すなわち10億分の1^{ナノ}の世界。細菌は普通の顕微鏡(光学顕微鏡)で見ることができるが、ウイルスは電子顕微鏡でなければ見るできない。

ウイルスと細菌の違い。細菌は細胞というボディを持っているので、適度な栄養と水分があれば、自分で増殖することができる。一方ウイルスは核酸(DNAなどの遺伝子)とそれを囲む殻しか持っていない。細胞はものを生産する工場に喩えられる。

ウイルスは設計図しか持っていないということですから、どこかの工場に入り込んで、たとえば、その工場の中にある複写機を使って自分のコピーをつくらせるということで増殖する。

2. ウイルスは、途方もなく、たくさんある

全宇宙の星の数は10の22乗個だが、地球の海にいるウイルスの数はその10億倍、10の31乗個もある。その総炭素量、海にいるウイルス全部の重さは、シロナガスクジラー一頭約100tの7500万頭分もある。75億t。世界中の人間の総炭素量は4億tにしかならない。

海にいるウイルスを一個ずつつなぎ合わせて並べたら、その長さは 1000 万光年。ホントかなと思うほどの天文学的數字である。人間に感染して病気を引き起こすウイルスはほんのわずかで、健康な人の身体には少なくとも 29 種類のウイルスがいる。そのほかのウイルスはあまりにたくさんありすぎて研究しきれない。ちなみに人の体の中には 100 兆個を超える微生物(主に細菌)が存在すると言われています。

3. ウイルスは、毒ではない

コロナウイルスについて、よく弱毒性とか強毒性といいますが、ウイルス自体に毒性はありません。毒を生成することはできません。いわば単なる設計図にすぎないウイルスは、宿主の細胞に入り込んで自己複製をする機能しかないので。ウイルスそのものは毒でもなんでもないとして、何が問題かという、免疫に関わることです。免疫とは、細菌やウイルスなど外から侵入してくるものや、体内で発生するがん細胞などから身を守る体内の自己防護機能のことです。細菌やウイルスなどが外から侵入してきてもすぐに発症しないのは、この免疫機能がきちんと働いているからです。この免疫機能は、私たちの体内にある免疫細胞(白血球の仲間)が担っています。

4. ウイルスがなければ、生物の進化はなかった

35 億年前に誕生した生命は、もしウイルスが介在することがなければ永遠にアメーバのような単細胞生物のままだったかもしれない。単細胞生物が多細胞生物に進化し、やがて地球上に無数の種の生物が繁殖するに至ったのは、どうしてなのか。細胞が分裂する場合でも、親子代々と子孫につながっていく場合でも、基本的に同じ形質が継承されます。もし、あるとき全く別の形質のものが生まれたとしたら、遺伝情報が書き換えられたに違いない。ところが生物の遺伝子というのは、基本的に安定していて一安定していないと困るのですが—そう容易く変異することはありません。その生物の遺伝子に別の情報が入り込むか、別の情報書き換えられるとしたら、それは生物の細胞に侵入して本来の遺伝子に紛れこんだウイルスの仕業以外に考えられないのです。

アメーバのような単細胞生物から、いくら 35 億年という途方もない歳月を費やしたとはいえ、一体どうして 37 兆個もの細胞を持つ人間に進化してきたのでしょうか。そのメカニズムは神秘そのものです。

5. ウイルスは、人間の敵ではない

ウイルスはウイルスで単体では自己増殖できないので、宿主を必要とする。宿主の細胞を借りて自分の遺伝子をコピーして増殖する。私たちは新型コロナウイルスを敵だと思っているが、新型コロナウイルスは人間にしか感染しない。人間の細胞を宿主としなければ増殖することのできない存在に変異したウイルスなのである。

このウイルスは人間と共存したいと願っているのではないだろうか。決して人間を殺そうとはしていない。

インフルエンザウイルスに比べると、桁違いに穏やかなウイルスなのです。

6. ウイルスが、人間の脳を発達させた

人の遺伝子情報(ヒトゲノム)の半分はウイルスに由来するとのことですが、これを言い換えればウイルスがいなければ、人類は誕生してなかったということです。これはすべての生物

について言えることです。地球上の生物は、ウイルスのお陰で誕生した。人間の場合、その最大の特徴は脳が発達していることです。これもウイルスのお陰です。

人間の脳は体重の2%を占めています。他の動物と比較すると非常に高い割合です。でもわずか1300グラムほどの脳は、身体全体のエネルギー代謝の20~25%を占めている。5、6歳の子供は60%のエネルギーを脳が消費しているそうです。

7. 進化の最終形態として、人間は利他の心、奉仕の精神が尊いと考えるようになった。脳の約30%を占めるのは思考や感情抑制などの人としての大切な機能を司る前頭前野という額の内側部分になります。動物の中でもっとも大きいチンパンジーなどでも7%くらいしかありません。

この前頭前野が理性的な思考や、利他的行動といわれる報酬を期待しない場合でも、他人を助けるという人間らしい行動を司ると言われている。

社会奉仕やボランティア活動などの人間同士のみならず、海辺に打ち上げられた鯨や重油まみれになったカモメを一生懸命救っているボランティアの活動のように、そんなふうに他の動物を救助する行為は、人間以外の動物にはなかなか見られない。

現生人類は約20万年前にアフリカ大陸に出現して地球上に広まったというのが最新の学説、ちなみに日本列島へは3万8000年前に到達、です。

ロータリーが標榜する奉仕の理念は、人類が到達した最も崇高な精神です。これは犬や猫や豚や猿にはない。身も蓋もない言いようかもしれないが、ウイルスが介在していた可能性が高いとすれば、われわれ人類はウイルスに対する見方を変えるべきではないか、ということ。この結論を納得してもらうためには、もう少し検証が必要ですが。

ニコニコボックス

矢島 進・小口泰史・林 裕彦 諏訪グループインターシティミーティング、皆様のご協力の下、無事開催する事ができました。ありがとうございました。

宮坂宥洪 今日卓話をさせていただきます。

牛山幸一・梅垣和彦・江黒寛文・大橋正明・小口国之・小口 隆・小口泰史・小口裕司・尾関秀雄・片桐伸介・上條英雄・小林大介・佐伯克己・瀬戸雅三・高木克彦・竹村一幸・中村文明・濱 俊弘・林広一郎・林 裕彦・宮坂晃介・宮澤由己・守屋麻里・矢島 進・矢島 貴・矢島 実・山岡俊幸・山岸邦太郎・山崎典夫・小口智之
本日は、宮坂宥洪会員の卓話です。よろしくお願ひします。

出席報告

会員数49名、出席者35名、出席率71.43%

Rotary



2020-2021 年度RIテーマ
ロータリーは機会の扉を開く
Rotary Opens Opportunities

